

檜尾川通常砂防事業

平成17年11月4日

大阪府土木部河川室ダム砂防課

檜尾川通常砂防事業の概要 (位置図)

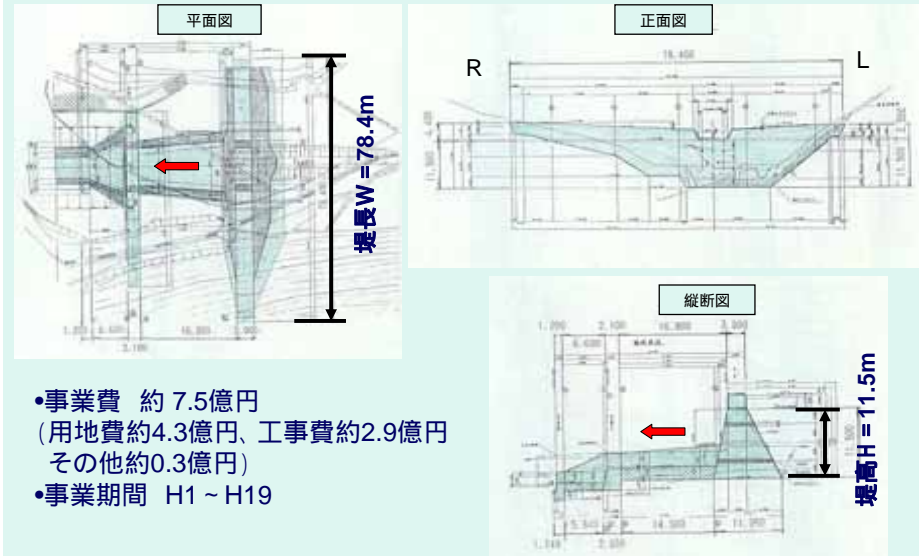


1 事業概要

- 砂防えん堤工 1基 (堤高H = 11.5m、堤長W = 78.4m)
- 流域面積 A = 1.19km²(えん堤上流)
- 流出土砂量 V = 63,498m³

第7回大阪府建設事業評価委員会
H17.11.4

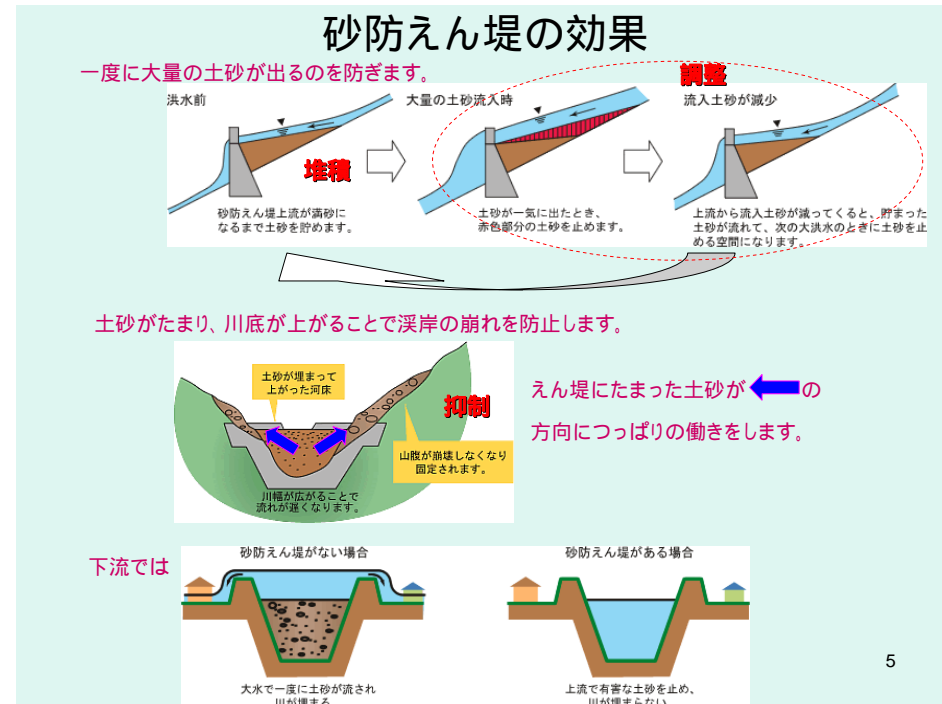
資料 4



2 事業の目的

砂防えん堤を整備し、山腹崩壊や沿岸浸食により流出する土砂が下流河川に堆積し、**洪水を引き起こすことを防止**するとともに、渓流直下の保全家に対する**土石流災害を防止**する。



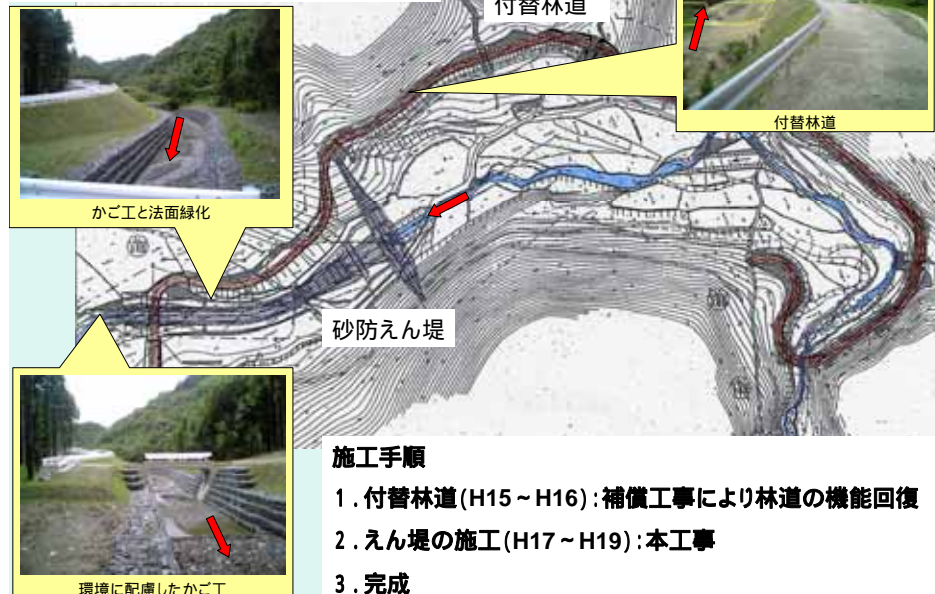


再評価委員会意見具申(要約)

- H10年度**
 事業の必要性は認めるが、府民の理解という点で一層の検討が必要と思われるので、「継続審議」とする。
- H11年度**
 本事業は、現時点では、事業に対する一定の理解が進んだと考えられるが、地域住民の十分な合意が得られたとまで判断するにはいたっていない。このことから、「継続審議」と判断する。今後、直接被害を受ける地域住民への説明をさらに進め、住民の意思を明確な形で本委員会に示されたい。
- H12年度**
 檜尾川下流域の人家等を保全する効果を有すると判断されること、地元住民の意思を明確な形で確認することができたことから、**本事業の必要性を認め、「事業継続」と判断する。**
 但し、今後とも、必要の都度、地元への事業説明に努めるとともに、特に住民から疑問や問題提起がなされた場合には十分に説明を行うなど適切に対処されること、また、施工にあたっては自然環境や景観等への配慮に努めることを要望する。

3 事業進捗

再評価時 用地: 67%, 工事: 0%
 今回 用地: 100%, 工事: 72%



かご工の効果



再々評価時の事業内容の変更点について

事業費

	再評価時(H12)	今回(H17)	備考
事業費	6.5億円	7.5億円	進入路協議不調による工事車両の小型化等による増額
用地費	4.2億円	4.3億円	
工事費	2.0億円	2.9億円	
その他	0.3億円	0.3億円	

工期

- ・用地買収及び進入路借地に時間を要したことによる延長
- 完了年度 平成15年度 平成19年度

9

B/Cの算出手法による比較(参考)

算定時点	算出手法	
	土石流対策事業費用便益分析マニュアル(案) H10年度暫定版	土石流対策事業費用便益分析マニュアル(案) H12年度版
再評価時(H12年度)	1.87 B=12.16億円 C=6.50億円	2.09 B=13.16億円 C=6.31億円
今回(H17年度)	1.58 B=11.84億円 C=7.50億円	1.74 B=12.78億円 C=7.35億円
備考	年便益(B)/年費用(C)	総便益(B)/総費用(C)

本箇所は各評価時点での保全対象の変動はない

10

檜尾川砂防えん堤地元説明会経過(H13~H16)

再評価委員会後も、地元自治会を中心に事業説明会を開催

日時	協議者	概要
平成13年9月11日	川東自治会 下条自治会	・再評価委員会の結果報告及び事業内容の説明
平成13年10月17日	原地区自治会 川東自治会	・砂防えん堤に伴う工事用進入路整備について説明
平成14年5月7日	成合北の町自治会	・14年度の工事内容及び安全対策について説明
平成14年10月5日	成合北の町自治会	・砂防えん堤に伴う工事用進入路整備について説明
平成14年11月29日	成合北の町自治会	
平成15年5月17日	成合北の町自治会	・平成15年度施工する工事内容及び工事中の安全対策について説明。
平成16年4月20日 平成16年5月11日	川久保自治会、実行組合	・平成16年度施工する工事内容及び工事中の安全対策について説明。 ・農業用水の確保等について、砂防えん堤との工事工程調整

11

府民へ砂防事業をPR



府民の参加状況



模型を使った説明

芥川こいのぼりフェスタ1000 (H17年4月29日~5月5日)より



模型と広報等を展示



三島府民センターホールにおいて砂防フェア開催 (H16年6月)

2